

私立大学図書館協会 2012年度第2回常任幹事会議事要録

日 時 2012年12月7日(金) 14時25分～16時55分
場 所 ホテル JAL シティ広島
出席者 名簿のとおり

議 事 次 第

議事に先立ち、会長校挨拶の後、今期の役員校に加え、次期会長校の立命館大学が出席していること、また、監事校関西大学の図書館長が交代したことの報告がなされた。新任の関西大学図書館・内田館長、次期会長校・立命館大学の臼井氏、高橋氏の挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、石川巧立教大学図書館長が担当した。

1. 報告事項(2012年8月～11月)

(1) 協会会務報告

会長校立教大学(阿久津)から配付資料(p.4-5)にもとづき報告が行われた。

(2) 東地区部会会務報告

東地区部会長校明治学院大学(萩原)から配付資料(p.6～8)にもとづき報告が行われた。臨時役員会での議事「役員校活動費改定案」について質問がなされ、改定内容の補足説明と今年度から適用する旨の報告がなされた。

(3) 西地区部会会務報告

西地区部会長校広島修道大学(社家)から配付資料(p.9～14)にもとづき報告が行われた。

(4) 委員会報告

1) 協会賞審査委員会報告

会長校(阿久津)から配付資料(p.15)にもとづき、委員会を8月30日に開催し、次期協会賞審査委員会委員の選出ルールについて協議したこと、選出ルールについては、「協会賞審査委員会委員選任に関する申し合わせ(案)」として、次回委員会の協議を経て、3月の東西合同役員会に提案する予定であることが報告された。

また、協会賞の受付期間は2013年1月末であるが、現時点で1件の推薦があることが報告された。

2) 研究助成委員会報告

会長校（阿久津）から配付資料（p. 15）にもとづき、研究助成の受付期間は12月10日までであるが、現時点で応募はないとの報告がなされた。

3) 国際図書館協力委員会報告

会長校（阿久津）から配付資料（p. 15～17）にもとづき、実施事業について以下のとおり報告がなされた。

- ・国際シンポジウムが11月9日、「大学図書館における学習支援を考える」をテーマに龍谷大学アバンティ響都ホールで開催され、80名の参加者があった。
- ・海外集合研修に11名の応募があり、書類選考で9名とし、選考面接の結果、5名を決定した。12月3日に出発、現在研修中である。
- ・海外派遣研修は期日までに応募がなく再募集を行った。その結果、1名の応募があり、12月の委員会で選考面接を実施する。
- ・海外認定研修は11月末締切であったが、3件（個人2、グループ1）の応募があり、12月の委員会で審議する。
- ・第2回寄贈資料搬送事業に1件の応募があった。

4) 協会ホームページ委員会報告

会長校（阿久津）から、配付資料（p. 17-18）および別紙資料1にもとづき、協会ホームページの整備についての提案について、以下のとおり報告がなされた。

1. 旧ホームページの閉鎖（2014年度末までに）
2. 整備方針

カテゴリを共通化した資料については下記のとおり整備し、各地区部会・協議会独自の資料がある場合は、移行の判断と移行作業は各地区部会・協議会に任せることとする。ただし東地区部会研究部研究分科会については、ホームページ構造と管理が分科会ごとに異なるため、当方針は適用しない。

(1) リニューアル時に移行済みのカテゴリ

概要、規程、申請書

(2) 移行対象カテゴリ

会議資料、研究会・研修会、English Version（作業は業者に委託）

(3) 移行対象外のカテゴリ

お知らせ、年間行事、委員・役員校（歴代理事校は「概要」カテゴリに掲載済み）

上記の提案について、過去の記録を参照する場合も生ずるが、移行に伴い閲覧できなくなるカテゴリがあるのか確認したい旨の発言がなされた。これに対して、基本的に従来の内容は閲覧できるよう移行する方針であること、詳細については上記提案のとおり、各地区部会・協議会に判断を任せる方針である旨の補足説明がなされた。

(5) 協会関連事項報告

会長校（阿久津）から配付資料（p. 18-19）にもとづき、以下の報告がなされた。

1) 国公立大学図書館協力委員会報告

2012年11月16日に実施（於・慶應義塾大学三田キャンパス）

2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

2012年11月16日に実施（於・国立国会図書館）

上記1)、2)については、例年、第2回常任幹事会後に開催されており、資料は第2回東西合同役員会において配付している。本年も第2回東西合同役員会で資料を配付・報告の予定であるが、以下のトピックについて石川館長から報告がなされた。

国立国会図書館の報告

- ① 国会図書館法改正 オンライン資料の納本
- ② 著作権法の改正 NDL絶版資料のデータ送信
- ③ 博士論文デジタル収集
- ④ 震災アーカイブ

大学の基調報告（ラーニングコモンズ）

3) 日本図書館協会報告

- ① 2012年度臨時評議員会

2012年10月4日に実施（於・日本図書館協会）

4) 後援・共催事項

なし

(6) 2012年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

会長校（阿久津）から配付資料（p. 20-22）にもとづき、10月1日付以降の異動について報告がなされた。

(7) 2013年度行事・会議予定（案）

会長校（阿久津）から配付資料（p.23）にもとづき、標記について報告がなされた。国際シンポジウム開催について確認があり、第73回総会において複数年度に一度の実施とすることが承認されている旨の補足説明がなされた。

2. 協議事項

(1) 2012年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込について

会長校（阿久津）から、配付資料（p. 25-27）にもとづき、2012年11月20日締切日での中間決算報告および今後の執行予定額などを含む決算見込みについて、説明ならびに提案がされた。報告に対して質疑応答がなされた。協議の結果、提案どおり承認された。

主な内容

- ・第73回総会・研究大会特別会計の決算が確定し、一般会計に557,308円が戻入れされた。
- ・ファーストサーバから賠償金・利用料219,870円が戻入れされた。
- ・HPリニューアル費として300万円を支出した。

- ・委員会活動費は実費精算のため、残金が戻入れされる。
- ・印刷費、通信費は、各種文書の削減、発送の一括化等により支出が削減されている。
- ・来年度の繰越金は、現段階で 1343 万円の予定、今年度の繰越金は 1700 万円であったので、実質的な活動を実施することにより、減額することができた。
- ・国際シンポジウム運営費、海外集合研修費の中には、業務委託費が含まれている。
- ・寄贈資料搬送の応募が少なく、約 600 万円が次年度繰越金となる見込みである。

主な質疑応答

- ・国際シンポジウム運営費は約 190 万円となっているが、この金額が目安であるのかという質問に対して、例年 90 万円で予算を組んでいたが、2012 年度は 2010 年度の支出など参考に 195 万円を予算化した。国際シンポジウムは来日いただく方の国や人数が決まらないと経費が確定しないので、この金額は確定したものではなく、おおよその目安としての金額である旨の補足説明がなされた。

(2) 2013 年度事業計画 (案)

会長校 (阿久津) から立案の経緯について説明がなされた後、次期会長校立命館大学 (臼井) から配付資料 (p. 29~30) にもとづき、標記について趣旨説明ならびに提案がなされた。

提案に対し、他機関との連携協力、特に業務の委託化が加盟校で進展する中で、委託業者との連携を探る企画を検討してほしい旨の要望が出された。

協議の結果、提案どおり承認された。

(3) 2013 年度一般会計・特別会計予算 (案)

会長校 (阿久津) から配付資料 (p. 30~31) にもとづき、標記について説明と提案が行われた。報告に対して質疑応答がなされた。また、今後の決算結果を反映させ、次期会長校・立命館大学と協議し、今後予算案を策定していく旨の報告、確認がなされた。

協議の結果、提案どおりに承認された。

1) 一般会計

- ①【収入/会費】：現在の加盟校数 533 校を基礎数として算出
- ②【支出/総会・研究大会開催支援費】：意見交換会を学外で予定のため、2012 年度と同額を計上した。
- ③【支出/協会 HP 更新サポート費】：年間保守費用 (定期更新等、リニューアル時より適用) に加え、旧ホームページ閉鎖にむけての整備費用を計上した。

2) 研究助成特別会計

- ①【支出/研究助成金】：現行では 1 件採択予定で計上。今後の採択件数に応じて計上額を変更する。

3) 国際図書館協力特別会計

- ①【収入/基金】：2012年度実績をもとに100万円を計上。企業からの基金が大幅に減少している。
- ②【収入/国際図書館協力事業支援費】：2013年度はシンポジウムを実施しないため100万円減額の250万円を計上。

上記①に関して、ご寄付をいただいた企業から、基金の使途の詳細がわかるようにしてほしい旨の要望があることが紹介された。現在、寄付を依頼する際に、前年度の基金の御礼と各種報告書を添付しているのみであるが、加えて今後は決算時に協会から御礼と報告をするなどの配慮が必要であるとの意見が出された。

(4) 第74回(2013年度)総会・研究大会について

会長校(石川、阿久津)から配付資料(p.32)にもとづき、説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案どおり承認された。

今後の予定

2013年1月18日 事務引継ぎ実施(出席:本年度総会当番校および次期総会当番校、会長校、次期会長校)

2013年3月8日 第2回東西合同役員会に予算案提出

3. 懇談事項

(1) 次期役員校、委員会委員の選出について

標記について、現状の選出状況の確認がなされ、今後の委員の選出について種々懇談がなされた。

(2) 会務資料の整理について

会長校が提案した方針について説明がなされ、その案どおりに会務資料を整理することが了承された。

(3) 加盟校への書類の送付方法の選択について

会長校が提案した方針について説明がなされ、その案どおりに加盟校への書類の送付方針を選択することが了承された。

(4) 2013年度休会を希望する加盟校への取り扱いについて

第2回東西合同役員会において、再度報告することが確認された。

(5) その他

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

<配付資料>

資料1 協会ホームページ委員会への会長校からの検討依頼文書

資料2 2013年度協会役員校、委員会委員および協会関連団体委員について

資料3 会長校引継資料の整理

資料4 加盟校への書類等の送付方法の選択について

以上